

知財調査・評価会社一覧

		総頁数 (目安)	3C			SWOT		まとめ		金銭 評価	その 他	特徴項目の記載方法	全体的なスタイル
			市場	競合	自社	強み・ 弱み	機会・ 脅威	課題	対策				
A	分量 目安	34	10%	5%	55%	10%	5%	5%	5%	5%	0%	知財情報を中心に定性情報も織り交ぜながら、技術及び商品、事業の強みを丁寧に解説。	知財や技術を活用した商品、事業の解説に特徴があるが、市場動向や財務情報を活用した知財の経済価値評価などバランス良く記載。その上で、課題と対策、総合評価を提示。
	特徴 項目				○								
B	分量 目安	15	29%	11%	25%	7%	7%	7%	14%	0%	0%	定性情報・客観的な市場データ等を踏まえ、対象企業が取り組む事業・製品等に係る市場性／将来性の評価、競争環境の変化の可能性、期待される新規市場について、丁寧な定性評価を実施。	図表や写真も多く活用しつつ、必要な定性情報や評価を丁寧に文章で記述したレポート調のスタイルであり、総頁数に比して情報量は充実。
	特徴 項目		○										
C	分量 目安	35	12%	12%	35%	3%	3%	3%	3%	29%	0%	自社の知的財産権の特徴を分かりやすく整理した上で、市場調査や競合調査に基づき製品・サービスの優位性を分析し、 <b>知財情報や市場情報に基づく知財価値評価を実施</b> している。	金融機関のニーズを理解し、評価対象企業が有する技術的な強みや市場・競合調査に基づき知財価値評価を中心とした知財ビジネス評価を作成する。
	特徴 項目									○			
D	分量 目安	32	10%	10%	40%	15%	10%	10%	10%	0%	0%	自社の知的財産権の特徴を詳細に記述するほか、個別技術および組織としての強みについて <b>主に知財情報から分析</b>	定性的な市場動向を記述したうえで、知財情報を主体として競合や自社の特徴を評価。知財の創造・保護・活用等の視点でA～Eのランク付けも実施。
	特徴 項目					○							
E	分量 目安	38	10%	35%	30%	10%	2%	5%	3%	5%	0%	<b>知財情報</b> だからこそわかる対象製品の強みや他社との関係、対象企業のヒヤリング情報を加えて、トータルでわかりやすい解説	知財のプロフェッショナルによる専門的な見地とビジネスの視点による分析が特徴。特許マップ版、経済価値評価版など幅広いニーズに対応した評価書作成
	特徴 項目			○									
F	分量 目安	14	11%	6%	33%	3%	3%	3%	25%	0%	17%	<b>知財情報を主体として</b> 自社特許の解説に加え、 <b>競合他社が保有する知財情報</b> も踏まえ、競合他社との技術力の比較を精緻に行っており、相対的な技術優位性を把握可能。	市場、知財の保有状況、技術力、知財、その他（販路開拓等）の5項目について必要な情報を整理するだけでなく、5項目について6段階で評価し、ランク付けも行っている。
	特徴 項目				○								
G	分量 目安	25	15%	10%	30%	25%	5%	5%	5%	5%	0%	<b>知財情報と定性情報</b> を含めて他者と比較したうえで、自社の強みを分析	特許編もしくは商標編を選択可能。知財情報を主体としつつ、市場性や競合について定性的な調査も実施。知財に対する取組状況等について、独自評価によりランク付けも実施。
	特徴 項目					○							
H	分量 目安	73	10%	5%	55%	10%	5%	2%	3%	10%	0%	自社について、ビジネスモデルの外観や、技術に関する <b>定性的な解説</b> に加えて、保有 <b>特許に着目した詳細な分析</b> を実施。	金融機関様からの事前情報に基づき、評価書利用の目的等を明らかにしてから評価対象企業に対するヒヤリングを実施。ビジネスモデルと知財についての入念な調査と詳細な記載が特徴。
	特徴 項目				○								
I	分量 目安	69	2%	18%	45%	6%	6%	2%	7%	0%	15%	<b>知財情報を主体として</b> 自社の特徴や問題点を丁寧に整理していることに加えて、 <b>他社の知財情報</b> を踏まえた競合分析を実施しており、評価対象企業の技術の特徴や相対的な強みを把握可能。	知財情報の分析に力点を置いているが、SWOT分析や課題と対策を導くために必要な構成要素を丁寧に整理している。本編の内容をより理解するための参考資料も添付されている。
	特徴 項目				○								
J	分量 目安	25	11%	22%	56%	3%	3%	3%	3%	0%	0%	<b>知財情報を主体として</b> 保有特許について整理を行う他、他社特許との比較に基づいたポジショニング分析を実施し、客観的な優位性を分析。	必要な情報を端的にまとめ、ポイントを絞った記載を心がけている。
	特徴 項目			○									
K	分量 目安	70	13%	6%	17%	0%	0%	6%	33%	0%	13%	<b>知財情報の分析をマッチング先の選定</b> に資する形で <b>市場及び競合プレイヤー</b> を抽出・分析する点に力点を置いている点が特徴である	知財情報の分析結果を中心とした記載となっており、マッチング候補企業の抽出に主眼を置いている。
	特徴 項目								○				